

2010.APL

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第17号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

環境に配慮した釣具を開発したいと思いながらここ数年ですが、釣具以外の業界でも生分解素材などが出てきては消えている世の中です。環境に配慮した商品については興味あるものの高いお金は出せない、というのが本音だと思います。値段が高くなった分と同等以上の魅力がないとでもいいでしょうか。

原料差で言いますと、プラスチックを例にあげると一般的なPPとPLA(生分解素材)は3倍くらいです。金属ではタングステンとは原料差で約10倍です。であるならばとGear-Labはこの原料価格差の大きいタングステンで何が

できるかを真剣に考えています。

タングステンと言えれば隣の中国が世界一の生産量です。国策としてタングステンの管理が厳しいのは驚きました。

ただ、このままずっと鉛は使えませんしヨーロッパは既に釣りに使うオモリでも規制の対象です。

Gear-Labは後追いしないで皆さんと一緒にタングステンの製品開発を先駆したいと思っております。タングステンを使って作って欲しい釣具大募集です。(^^)



旅暮らし四方山話。(その6)

旅と旅行は違うといひます。まず旅は一人、旅行は誰かと一緒。この差はあまりにも大きすぎます。

旅はたくさんのお会いが生まれますが、旅行ではお会いが殆ど生まれません。いえ仲間と一緒に行く旅行は好きです。でもひとりでの旅はもっと好きです。そのひとりの旅は二種類あると思ひます。

ひとつは目的がある旅です。行きたいリゾートでゆっくりしたい旅、見たい遺跡や博物館などがある旅です。事前にしっかりガイドブックを準備して出かける旅ですね。最近はそのガイドブックの詳細さに驚きを隠せません。

そしてもうひとつは、特に予定を決めずに旅先で起こりうる“事件”に期待する旅

です。

旅の楽しみ方はさまざまですが、究極の旅の喜びは現地の人々との偶然のお会ひです。「お会ひ系旅」(～;-)。予定のないハプニング性の高い旅はもう最高です。旅を楽しもうと前向きな気持ちは「予定調和ではなく事件との遭遇」を大事にしてしまひます。



この一人での寂しい写真 は仲間と一緒にいった旅行とは違ひ、寂しければ寂しいほど事件を求めめるのです。

本当のことを言ひますと実は最初のうちは寂しくて寂しくて出張でも夜の食事はとくにそうで、ヒマでヒマでテレビを見ている居酒屋の店主を店の外か

らのぞき見して探し出してお店に入っていました。店の店主がお話してくれるからです。そのうちお客さんが多くなると店主も忙しくなり、私はまた一人で呑み始めます。

一人客がカウンターに座ったら、お～。仲間だあ～。と思ひて、「これ旨いですよ。」とお話かけます。人当たりの良いひと

とだとそのまま話し相手になってくれるのですが、そうでないこともしばしばです。

たまに返事してくれない人もいます。そこでもっと寂しくなります。(*_*)

で・・・返事してくれなかった人は常連だったりして他の客と愉快に呑み始めることもあります。そしてもっと寂しくなります。(*_*)

で・・・たまたま横に座った一人の女性に気軽に声を掛け

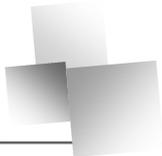
たら、ナンパされると思ったのか、そっけない堅い返事で終わったりすることもあります。撃沈。(*_*)

頭の中はバックラッシュです。(; ;)

一人旅は夕食だけでもこのように鍛えられることがあります。(T_T)

(右上につづく)

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱心な人々と共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとられない商品開発や逸品釣具を求めめる方とのみチームを組んでいきます。



でも私が絶対にやらないことが一つあります。それは、ホテルに泊まってコンビニ弁当を買って部屋で食べることです。安くつき経済的なのですが、これをやってしまうと旅の良さが半減してしまいます。

寂しくても辛い思いをしても一人でカウンターに座るのは旅の原点でもあります。いつも寂しいからこそお店の人やお客様からの何気ないたった一言がジーンとくるのです。

そんなときは嬉しくて嬉しくてその店がその土地が大好きになります。・・・で調子によって飲みすぎでしまいます。

そんな中で数を重ねると全国に友達ができます。博多に住んでいる私が東京にソムリエ、神奈川に金属技術者、北海道に保険業、石川に自衛隊員、ハワイに釣り師・・・いろんな友達ができます。一度しか会っていない人、数年も会っていない人、東京で毎月会う人いろいろです。一度会って話した人ならメールや電話のやりとりで関係は保てますし、遠く離れていても私が知らない貴重な情報を教えてもらうことができます。

旅をするうえで大事なことは身構えないことです。最近それがやっと分かってきました。さきほど辛く寂しい話をしましたが、一人で行動していると逆に話しかけてくる人もたくさんいます。そこから友達になることも多々あります。

仲間とワイワイ言いながら楽しむ旅行も良いのですが、ときには一人で旅をすると違った旅の醍醐味を味わうことができますと思います。

是非ひとりで出かけてみてください。お奨めです。(。^)

一つてんや 準備中です。

先月、お話しした一つてんやのジグを準備中です。タングステンヘッドも一緒に検討していますが、まずは普通の一つてんやのジグです。

船からではなく陸っぱりでドン深の防波堤から投げたのですが、これは面白い釣りになりそうです。当日は外道しか釣れませんでした。細かいラインで飛びますしドン深の防波堤ですと竿先でアタリを確実にとらえることができます。モエビックスヘビーウエイト13gを一緒に持参すると多魚種が狙えてバリエーションのある釣りになりますね。

波止PUFF 4月リリース

5年間くらいお蔵入りしていた陸っぱりから釣るPUFF(通称おっぱい針)が完成間近です。

只今13名のテスターの方々に使っていただいております。従来の餌木の釣り方とは違って二匹のイワシが逃げようとしているような動画は是非見て頂きたいです。

YouTubeサイトで波止PUFFで検索してみてください。

深いところや遠投したい釣り場ではダウンショットで探ることができるのがこの波止PUFFです。

さてさてこれからの季節が楽しみです。(。^)

意外なイカの産地 福岡県北部

日曜日の朝は釣りに行かなくても早起きして港へ直行すると朝市では玄海育ちの元気な人たちがいっぱいいます。福岡県北部の玄界灘に面する神湊漁港は毎週日曜日の朝市「朝市イカ太郎」が開催されています。

朝8時から市開場となるや、水揚げされたばかりのイカが猛烈なスピードで売られていきます。売場に接岸されたイカ釣り漁船から、次々にイカをタモですくって水槽にいれ、はじけるように新鮮なイカを手際も鮮やかに一杯ずつ絞めてお客様に渡すのです。

福岡県で一番の漁獲高の鐘崎漁港と神湊漁港では地元で魚が流通されるようになったのはほんの最近のことです。

「もう呼子にイカ食べに行かんでよかばい。」とそんな声が聞こえてきます。

ここ数年でこの漁港の廻りに美味しい魚を食べさせてくれる料理屋が増えてきました。そんな料理旅館のひとつ「御宿はなわらび」ではヤリイカを使った“活きイカどんぶり”が人気です。ガラスのように透き通ったヤリイカに卵を落とし、わさびと醤油をちょっぴりたらしただきます。

歯触りの確かさ、甘みはなかなかのもので。ただ新鮮すぎるイカよりも透明度が消えてきたイカの方が旨みは味の深さがあります。一夜干しも炭火で炙れば最高です。

2月スルメイカ、3月コウイカ、4月ミズイカ、5月からヤリイカ。次々にメインになるイカが変わるのでイカ市を訪れる楽しみも月替わりです。イカの新名所、福岡にきんしゃい。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092 - 663 - 5196

Fax 092 - 663 - 5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(。~)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DETCHEこと福山でした